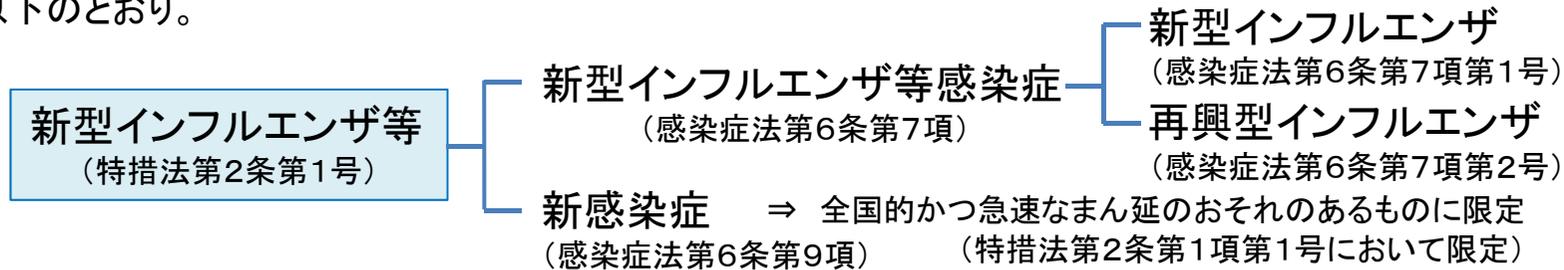


＜特措法の対象疾病＞

○ 新型インフルエンザは、他の感染症と異なり、国民の大部分が免疫を獲得していないこと等から、全国的かつ急速にまん延し、かつ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあり、また、国民生活及び国民経済の安定を著しく阻害する可能性が高いことから、このような事態に備えて、今般新たな法律を設けたところ。

○ 未知の感染症である新感染症の中で、その感染力の強さから新型インフルエンザと同様に、社会的影響が大きなものが発生した場合は、新型インフルエンザと同様、国家の危機管理として対応する必要があることから特措法の対象としたところ。

※ 特措法上の「新型インフルエンザ等」と感染症法上の「新型インフルエンザ等感染症」「新感染症」との関係は、以下のとおり。



＜対策実施上の留意点＞ 行動計画・ガイドライン事項

- 特措法の対象となる新型インフルエンザ等は、発生するまで具体的な特徴等が分からず、その正確な知見を得るまでには相応の時間が必要である。
そのため、実際の対策は、発生当初の病原性・感染力等に関する情報が限られている場合には、これらが高い場合を想定した強力な対策を実施し、常に新しい情報を収集し、対策の必要性を評価し、情報が得られ次第、適切な対策へと切り替えることとしてよいか。
- 行動計画は、未知の感染症であるが、今までの知見に基づき飛沫感染・接触感染を念頭にしつつ、さまざまな状況に対応できる対策の選択肢を示すものとしてよいか。
- 後述するSARSのような新感染症が発生した場合、治療薬やワクチンも無い可能性が高いため、公衆衛生対策がより重要となるのではないか。

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)

(定義)

第6条

7 この法律において「新型インフルエンザ等感染症」とは、次に掲げる感染性の疾病をいう。

- 一 新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とするインフルエンザであって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。)
- 二 再興型インフルエンザ(かつて世界的規模で流行したインフルエンザであってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。)

9 この法律において「新感染症」とは、人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。

(新感染症の発生及び実施する措置等に関する情報の公表)

第44条の6 厚生労働大臣は、新感染症が発生したと認めたときは、速やかに、その旨及び発生した地域を公表するとともに、当該新感染症について、第16条の規定による情報の公表を行うほか、病原体の検査方法、症状、診断及び治療並びに感染の防止の方法、この法律の規定により実施する措置その他の当該新感染症の発生の予防又はそのまん延の防止に必要な情報を新聞、放送、インターネットその他適切な方法により逐次公表しなければならない。

2 前項の情報を公表するに当たっては、個人情報保護に留意しなければならない。

過去の新感染症の例

～SARSのような新感染症が発生した場合～

現在は、二類感染症に位置づけられているSARSだが、発生当初は

- ・ WHOによる世界的警報が発せられており、
- ・ 症状が重篤であったことや感染力(感染経路は不明)から新感染症に位置づけられたことから、世界的な研究が進むまでの間は、SARSが特措法の対象とされていた可能性がある。

○SARS発生後の経緯

平成15年(2003年)

- 3月12日 WHOによる重症型非定型肺炎の世界的警報。
- 4月 3日 SARSを感染症法上の新感染症として位置づけ(これにより、医師からの届出や、積極的疫学調査などの対策が講じられた。)
- 5月 SARSに感染した台湾人医師(台湾帰国後に発症)が関西方面を旅行。
- 7月 5日 WHOがSARS伝播確認地域である台湾の指定を解除し、SARSの終息宣言した。(日本における感染はなし。)
- 7月14日 指定感染症として位置づけ。(世界的な研究が進んだことにより、病原体や感染経路、必要となる措置が特定されてきたため。)
- 11月 感染力、罹患した場合の重篤性等総合的な観点からみた危険性が極めて高いなどの理由から、一類感染症として位置づけ。

平成19年(2007年)

- 4月 感染症の重篤性や感染性の度合いを考慮すると一類感染症に設けられている措置を行う必要性は低くなったが、依然として入院勧告等の措置が必要であることから、感染症法を改正し、二類感染症として位置づけ。

○新型インフルエンザ(発生前で不明のため、高病原性鳥インフルエンザH5N1について記載)とSARSの比較

	症状	感染経路	感染力	薬	ワクチン
新型インフルエンザ	高熱、咳、息切れ、呼吸困難、腹痛、下痢	飛沫感染 接触感染	潜伏期間中・不顕性感染で、発症前の患者からの感染の可能性あり (潜伏期間1～10日)	抗インフルエンザウイルス薬	プレパンデミックワクチン パンデミックワクチン
SARS	高熱、咳、息切れ、呼吸困難	飛沫感染 接触感染	・発症前の患者からの感染なし ・発症後1週間後から感染性が高まる (潜伏期間最大10日間)	なし	なし

○主なWHOの勧告等 (「SARS いかにか世界的流行を止められたか」より抜粋)

平成15年(2003年)

3月12日 WHOは世界に対する最初の警告を発する。

ハノイにおけるアウトブレイクの展開により関心が高まり、香港から報告されるプリンス・オブ・ウェールズ病院のアウトブレイクに促され、WHOは異型肺炎について、世界へ異例の警告を発する。WHOは各国の保健当局に、ベトナム、香港、広東省で起こった、医療従事者を危険に陥れる、原因不明の急性呼吸器症候群について通知。

3月15日 WHOは緊急の旅行勧告を発表し、その死にいたる病に名前をつける。

SQ25便の出来事に促され、ウイルスが国際線の飛行機旅行を通じて拡散するという証拠が増えているため、WHOは異例の旅行勧告を発し、この謎の病気にその症状から一重症急性呼吸器症候群(severe acute respiratory syndrome : SARS)と名づける。そしてそれを世界的な健康への脅威と宣言。WHOはSARS疑い例および可能性例の最初の定義を発表し、すべての旅行者や航空会社に、兆候と症状を知っておくように求める。

3月16日 WHOは「感染地域」のリストを発表する。

WHOは、SARSの地域内伝播が起こったことを保健当局が報告したリスト(広東省、香港、シンガポール、トロント、バンクーバー)を公表。

3月27日 WHOが新しい旅行勧告を出し、出国の際のスクリーニングを勧告する。

WHOは国際旅行者および航空会社に、より厳格な忠告を発する。そして、感染地域からの旅客には、SARSの症状と接触歴について聞き取るよう勧告。

4月2日 WHOは香港と広東省への渡航延期勧告を出す。

香港から引き続き、ウイルスが他国に流出していることや(世界に対する警告以来、9例)、アモイガーデンでの地域での感染の広がりに対応し、WHOは55年の歴史の中で、最も厳しい渡航延期勧告を発する。「香港および広東省に対し、必要以外のすべての旅行を延期するよう検討しなさい」と。

4月16日 かつてヒトでは見られたことのない新しいタイプのコロナウイルスが、SARSの原因と確認される。

WHOは、特別な国際協力の下で、コッホの基準を満たした。SARSの原因である新しいコロナウイルスが確認されたと発表。SARSコロナウイルス(SARS-CoV)と名づけられる。

5月19日 航空機内感染は危険が低いと分析される。

旅客や搭乗員の中に有症状のSARS患者がいた35の航空機を、WHOが分析したところ、4機のみが同乗の旅客と搭乗員に感染伝播した可能性と関連づけられた。香港から北京へのCA112便、この1機のみが、広範囲にわたる感染があった。

5月27日 世界保健総会はSARSに関する決議案を可決する。

190以上の国が参加している世界保健会合—WHOを管理する母体—が、SARSに関する決議案を全会一致で承認する。代表たちはまた、WHOが将来のアウトブレイクを処理する力を強めるため、国際保健規則を改正するのに必要な手続きおよび予定表を、提示する決議を承認。

6月17日 クアラルンプールで、最初の世界SARS会議が開かれる。

WHOによって2日間の会議が開催される。同会議には、アウトブレイクの最初からSARSの調査および対応の最前線にかかわってきた専門家を含め、43か国から900名以上の科学者および臨床家が参加。

7月5日 台湾から伝播の連鎖は残っていないとして、SARSの一掃を宣言する。

WHOは、最近地域内伝播のあった地域のリストから台湾を除く。最後の症例は、6月15日に発見され隔離された。これで、SARSウイルスのヒトからヒトへの伝播で、わかっているすべての連鎖が今や断ち切られたことになる。